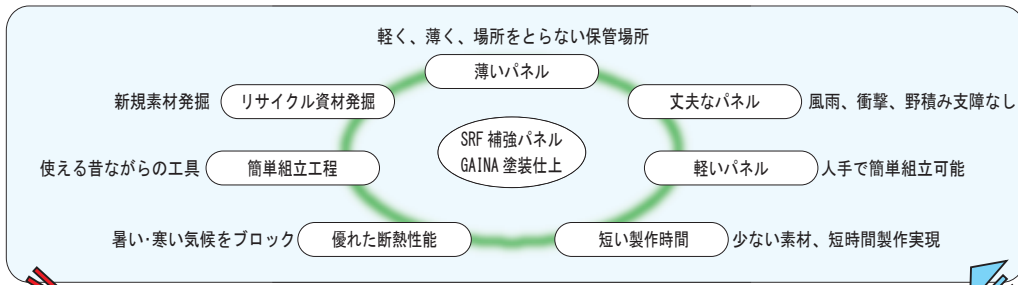
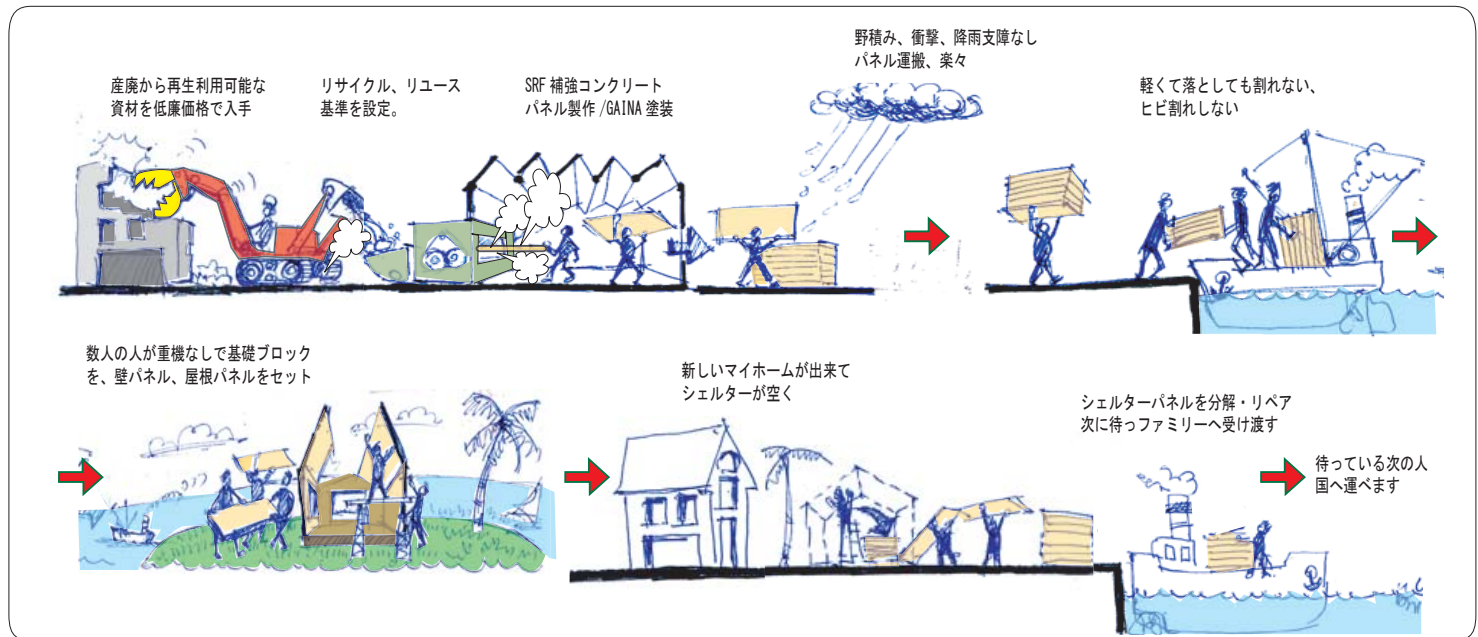
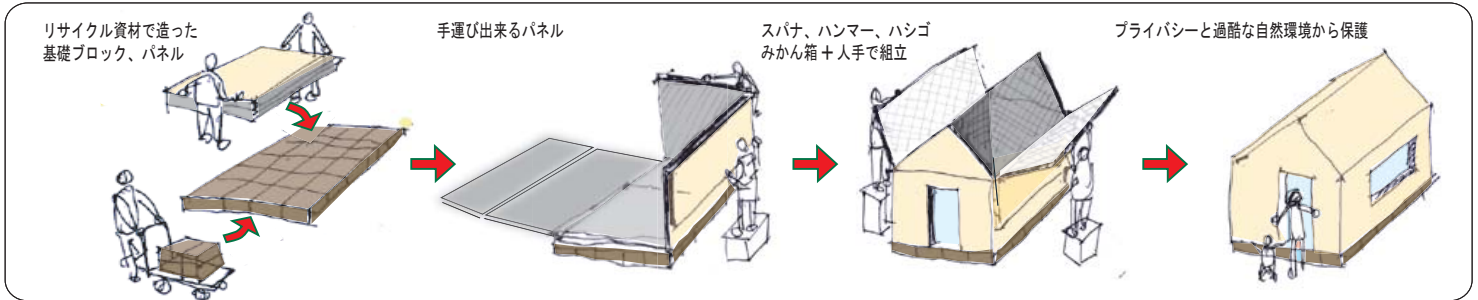
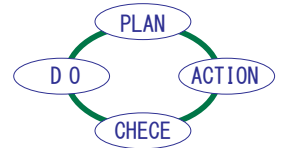


ワンボックスハウス

震災・内戦により世界中で家を失った人々数百万人。この人々へシェルターを素早く届ける「5つのR&PDCA」計画

- 誰でも簡単に、重機なしで運搬、組み立てが可能
- プライバシーの保護、悪天候から身を守る MIN 仕様
- 暑い国、寒い国でも高い断熱性能で快適な住まい
- 少人数用の小さいユニットから大人数のユニットまで

Reduce
Reuse
Recycle
Refuse
Repair



世界の避難者数概要

1995年	阪神淡路大震災	307万人
2008年	中国四川省地震	2,680万人
2011年	コートジボワール	100万人
2011年	東日本大震災	190万人
2013年	フィリピン 台風30号	400万人

PLAN (計画)
プライバシーと雨露防ぎシェルター供給

- Reduce : 不便な避難所生活の低減 & 素早い供給
- Reuse : どんな気候条件下でも繰り返し使用可能
- Recycle : シェルター原材料骨材に産廃コンクリート利用
- Refuse : リサイクル使用基準値を定め、不合格資材は不採用
- Repair : 繰り返し使用の修理方法を設定する

ACTION (見直し)
避難者家族利用状況リサーチ

- Reduce : 組立支障部品・部位及び居住時の不便箇所の削減
- Reuse : 繰返し居住時の不都合部位抽出、改善
- Recycle : 産廃資材の効率的再利用検証
- Refuse : コストアップ要因の抽出、削除、改善
- Repair : 部品、設計図、思考回路のフィードバック及びPDCA

産廃発生概算数量

2008年	コンクリート塊	3,200万トン
	木材	414万トン
	廃プラスチック	383万トン
2008年	空家 / 総住宅数	363万戸
		5,800万戸 = 13%

D O (実行・実施)
環境負荷を増やさない

- Reduce : 産廃骨材を使用し、新品資材の使用率を下げる
- Reuse : 繰返し使用を容易にする為、SRF 補強で薄い断面、断熱効率アップに GAINA 塗装を施す
- Recycle : 増加一途の空き家解体発生材リサイクルを視野に入れる
- Refuse : ポータブル資材検査キットで、素早く適不適を判断
- Repair : パネル製作過程で簡単修理マニュアル準備

CHECH (点検・評価)
素人が組み立てられる

- Reduce : 複雑 & 専門的知識・技術は不要か評価
- Reuse : 組立工具、組立知識も繰返し使用可能・不可能を点検
- Recycle : 工具、知識も繰返し使用し点検
- Refuse : 性能アップに繋がらない技術、工法有無点検
- Repair : 簡単補修可能か点検